

決算特別委員会審査概要

平成30年度の一般会計及び特別会計(5会計)の決算が8月29日に市長から提案され、議会は議長及び議会選出監査委員を除く20人の委員で構成する決算特別委員会(委員長・三角たけひさ)に付託しました。委員会は、9月24・25・26日の3日間審査を行い、「平成30年度狛江市一般会計決算の認定について」など6会計についていずれも認定しました。
 一般会計決算の主な質疑は以下のとおりです。

総括質疑

- ・平成30年度の決算規模が前年度より10億円以上も増額となっているがこの要因は。
- ・後期基本計画重点プロジェクトの進捗状況、取り組み状況は。
- ・無電柱化推進計画の平成30年度決算の結果と今後の計画は。
- ・昨年の台風24号による復旧に要した費用はどの程度か。
- ・保育園の待機児童解消を目指した取り組みと成果は。
- ・平成30年度決算は実質収支で約10億円を超える黒字となっているが市の評価は。
- ・就学援助の利用率、3年間の推移は。
- ・夏の異常な暑さで熱中症で救急搬送される方が急増したが、熱中症の実態は。
- ・多摩川住宅地域に開設されたこまほっとシルバー相談室の実績と課題は。
- ・平成30年度を終えて、これまでの国の財政状況も鑑み、これからの市財政の課題は。
- ・狛江市中期財政計画の策定の意義とその効果は。

- ・狛江市公共施設整備計画の施策別整備状況及び方針にある施設で進行中のもの、検討を要するものは。
- ・都市部では、地方へ流れるふるさと納税分のために、本来入るべき税額の減額が深刻だが、市の現状は。
- ・狛江市での市税及び国民健康保険税の徴収率の高さの裏づけは何か。
- ・障がい者雇用の実態について、法定基準を満たしているか、また障がい者雇用の今後の展望は。
- ・水道道路の安全対策の取り組みに関して、近隣住民への説明会の状況と市の果たすべき役割は。
- ・調布都市計画道路3・4・16号線の事業化による用地買収等の実施状況、課題は。
- ・2018年度と2040年度を比べた場合に、狛江市の社会保障費の伸びはどのようになっているのか。
- ・非常用充電設備等の市民への貸与、また将来的な取り組みとしてどのように考えているのか。

平成30年度 会計別決算状況

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	296億9,679万9千円	285億4,257万6千円	11億5,422万3千円
国民健康保険特別会計	81億8,417万2千円	81億494万9千円	7,922万3千円
後期高齢者医療特別会計	19億8,608万1千円	19億8,410万7千円	197万4千円
介護保険特別会計	63億7,792万8千円	62億2,045万円	1億5,747万8千円
公共下水道特別会計	18億4,053万4千円	16億4,232万9千円	1億9,820万5千円
駐車場事業特別会計	2,329万8千円	2,329万8千円	0円
合計	481億881万2千円	465億1,770万9千円	15億9,110万3千円

- ・災害対策への取り組み実績と評価は。
- ・絵手紙事業ということではなく、絵手紙発祥の地という明確な位置づけでよいのか。

【歳入】

- ・市税と国保税の徴収率が高いことのメリットは。
- ・ロケーション等の撮影許可について、公共施設における年間許可件数と収入総額は。
- ・不動産貸付収入について、市役所駐車場有料化の経緯、目的、効果は。
- ・中央公民館利用者の駐車料金を3時間まで無料とした場合、年間の収入は幾ら減るのか。

【歳出】

- ・ハラスメント苦情処理委員会の活動状況、内部相談、外部

- ・相談の実績と対応は。ボランティアの育成講座について、受講者の方は大会後も何らかの役割を果たしていくのか。
- ・人権尊重基本条例検討委員会関係費について、市内の差別被害の実情や人権被害の状況を調査したのか。
- ・市民相談関係費について、相談事業にはどのような窓口があるのか。また、専門性のあるカウンセラーや相談員に依頼しているのか。
- ・市民活動支援センターについて、どのような進展があったのか。
- ・プッシュ型の電子回覧板の導入について市の見解は。
- ・災害時の参集体制として自宅から市役所までの徒歩、または自転車での所要時間別の内訳は。
- ・庁用車へのドライブレコーダーの設置状況は。また庁用車への設置に対する市の考え方は。
- ・駅前広場関係費について、メビウス∞えきまえ広場の30年度の利用実績は。また30年度の実績の中で、独自の判断でトイレを設置したイベントはあったのか。
- ・コンビニ収納の場合は1件につき57円の手数料が発生するが、30年度のコンビニ収納に関する経費は。
- ・個人番号カードを紛失あるいは盗難に遭い、暗証番号を他人に知られた場合どのような危険が発生するのか。
- ・狛江市民カードが使えなくなることについての周知度や市

【民生費】

- ・生活困窮者自立支援事業について、昨年度の相談実績、年齢別の特徴は。
- ・高齢者ごみ出し支援事業について、制度の概要、課題は。
- ・社会福祉協議会に配置されたコミュニティソーシャルワーカーの30年度の実績は。
- ・敬老金の現状と今後の方針について。また敬老金のあり方を見直していくべきと思うかどうか。
- ・地域センター図書室の午前中開館について、本格実施後の利用状況は。
- ・手話通訳、要約筆記者の養成に関して現状と今後の取り組みは。
- ・空き家等対策関係費について、空き家等対策推進協議会の実施状況は。
- ・義務教育就学時医療費助成費について、昨年度の対象者の割合、1人当たりの助成額は。
- ・子ども家庭支援センター関係費について、30年度まで5年間の相談件数、相談内容は。
- ・東野川放課後クラブと北部児童館工事費用のうち、太陽光パネル設置費用は。

【衛生費】

- ・ごみ分別アプリ導入委託について、経緯と委託料、使用料は。
- ・母子保健事業関係費について、ママパパ学級の実績、事業内容とこれまでの参加状況は。
- ・古紙・古布回収運搬委託について、集団回収拡大の問題点など市の見解は。
- ・喫煙所が狭いため、周辺で喫

【農業費】

- ・農業と福祉の連携と最近よく言われているが、市民農園においてはどのような取り組みがあるのか。
- ・都市農地保全支援プロジェクトに関して、農家への説明等考えられるスケジュールは。

【商工費】

- ・平成30年度狛江・多摩川花火大会が中止に至った判断、プロセスは。
- ・くらしフェスタこまえの評価と課題は。

【土木費】

- ・狛江駅南口の側道で、生活道路の安全対策の実証実験として台形ハンパが設置されたが、この実験の目的は。
- ・駅周辺の自転車置き場増設への早急な手だてが必要であるが、どのように進めていくのか。

【消防費】

- ・災害対策用井戸水質検査委託の内容と結果は。

【教育費】

- ・学校安全ボランティアを対象とした研修等は実施されているのか。
- ・デジタル地図を導入した経緯と内容は。
- ・hyperQU委託料が約400万円になっているが、この費用対効果は。
- ・狛江市では合同の部活動は存在するのか。存在するのであればどのような活動をしているのか。